

平成 28 年 4 月 20 日

4 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は搬出間伐事業が公共から非公共へ切り替わり減少。入荷量も前年比 20%程度減少。荷動きは製材工場の手当意欲が低調で先安観から当用買い中心。入荷量が少ない中で、スギ、ヒノキとも柱材の引合い弱く、中目材は良材中心の引合いで全般に低調。丸太価格は製品需要の停滞が長引き横這いから弱気配の展開。スギは柱材が下止まり中目材は良材のみ保合。ヒノキは柱材が保合、中目材は弱含みで推移。

群馬の製材工場の操業は、製品市場の引合い弱く抑え気味の生産。製品市場の荷動きは引続き悪く、地場の小売店も動き鈍い。プレカットは回復基調にあり、構造材の注文が増加。製品在庫は構造・羽柄とも潤沢。原木の出材は順調で春の記念市に備え在庫増しの状況。原木相場は下落傾向で集荷は容易、在庫は通常より多め。製品価格は全般に低位安定、一部でスギ、ヒノキの角物に投売が聞かれる。

2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は出材が回復傾向。港頭在庫は 4 月から積増しの見込み。ウェアハウザー社の 4 月積み対日米マツ価格は、前月積比全ソート横這い。米加針葉樹製材輸入に関する新たな協定の締結に向け、米・加の話合い始まる。2 月の米材丸太の入荷量は 234 千 m^3 で大手工場の入荷好調、出荷量は 260 千 m^3 で年率換算 3 百万 m^3 超、在庫量は前月より減少し 188 千 m^3 。日本国内の大手工場は 1 月下旬より出荷不調続く。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)3 月の入荷量は 28 千 m^3 (前月比 13%減)、出荷量は 31 千 m^3 (同横這い)。在庫量は 55 千 m^3 (同 5%減)。2 月の米国住宅着工は年率 1,178 千戸で 3 カ月ぶりに増加。ランダムレングス紙の 3 月 25 日 15 種木材価格平均は、前月比 1.2%アップ。現地価格は住宅着工が市場予測を上回ったことでドル価格は強含み。荷動きはプレカットを中心に各社とも好調で、4 月以降の見積が増えている模様。先行き一定の仕事量は予想されるが、円高傾向と大手メーカーの価格下げアナウンスがどう影響するか不透明な展開。

3. 南洋材

サバは天候が回復し出材は良好。サラワクでの原木出材減の影響でサバに需要が集まり、原木輸出は依然好調、相場も保合。製材品は一部の樹種で価格高止まり。サラワクは伐採規制が依然厳しく、配船が難しくなるほど原木出材が落ち込む。製材品は一定量の出荷はあるが相場は横這い。PNG ソロモンは対日向けが依然限定的で、インド向けは横這い。丸太の入荷は増加、出荷・在庫とも横這い、製材品入荷は減少。丸太の販売は合板・製材用とも変化なし。製材品は集成フリー板が好調、無垢平割の動き悪い。デッキ関係は引続き堅調だが相場は横這い。

4. 北洋材

シベリアは気温上昇で丸太の出材が遅延。バイヤーは資金の調達不足で丸太確保が困難な状況。今後日本向けの良材確保には更なる奥地移動が必要で一層のコスト高が懸念。富山新港の3月入荷量は丸太3千 m^3 、製品11千 m^3 。丸太在庫は全国で1.4ヶ月分。丸太価格はエゾマツ、カラマツ合板用、アカマツいずれも保合。製材品は現地挽きがA・Bグレードとも弱含み、国内挽きはほぼ保合。荷動きは現地挽きが鈍化、国内挽きは高グレード品が好調、胴縁・ヌキは横這い。国内の北洋材製材工場は不採算、稼働は通常操業、原料調達は丸太が引続き少量入荷。特殊・上級材の受注多い。

5. 合板

原料丸太のうち国産材はスギ、カラマツとも供給に問題なく、価格は高値安定で横這い。ロシア材は集荷困難だが価格は横這い、米材は集荷安定し価格も横這い、南洋材は引続き高値横這い。2月の国内合板総生産量25.1万 m^3 のうち、針葉樹合板は23.6万 m^3 で高水準続く、出荷量も23.4万 m^3 と依然多い、在庫量は10.6万 m^3 で微増。国産針葉樹合板の4月販売価格は横這いを提示、商社の3月決算も終え4月は仕切り直しとなり、大きな乱れはない模様。

国産針葉樹合板は荷動きのない中で流通在庫も一杯の状況。メーカーサイドの価格維持姿勢に変化ないが、赤字売り価格が常態化しており、価格の乱れは大きくなっている。輸入合板は相変わらず港頭在庫が多く、需給バランスも合っていない中、更に安値へ向かう相場展開。先行き国産針葉樹合板は暫く荷動きに活気のない展開が予想されるが、在庫は相変わらず低水準のままでメーカーの強気姿勢も変わらないことから、これ以上の価格乱れはないものと予測。輸入合板は為替変動如何にもよるが、商社の決算期も終え現状が続く見通しはなく反転の可能性。荷余り品目は輸入塗装合板。品薄品目は針葉樹合板9mm、長尺合板。

6. 構造用集成材

ラミナの在庫は若干不足。QTR2 ラミナ交渉で WW が前回比€10 アップと急騰。ヨーロッパ側の供給減で年内は高値になる見込み。RW は若干の値上げ。国産集成材は、WW 間柱のタイト感是一段落、WW 柱、RW 梁桁は入港減で受注が増加。販売は WW 柱、RW 梁桁とも納期は 2~3 週間。先行き 6 月までは入港少なく国内メーカーの忙しさは続くが、消費税の関連で先行き不透明。冬場の不需要期と入港遅れでラミナ、製品とも在庫は少ない。WW 間柱、柱、RW 梁桁共にタイト感はあるが価格は横這い。輸入集成材は円高の影響で若干下げ傾向だが、ほぼ横這いをキープ。首都圏では分譲系で価格の安いスギ集成柱の採用が出始めた。価格差は WW に比べ 1 本 260 円程度安い模様。

7. 木材チップ

チップ用原木は A・B 材の市況低迷や FIT 発電向けで入荷悪い。解体材は例年に比べ若干入荷減少。消費は製紙用に変化なく、燃料用は大手製紙工場のボイラー修理で各社受入量の調整中。在庫はほぼ横這いで推移。針葉樹チップ価格は全体では横這いだが、一部の FIT 発電所の貯材量が減少してきており、材確保のため一部で値上がり傾向。輸入チップは為替変動で値下がり、国内チップの出荷要請弱まる。

8. 市売問屋

国産材の構造材は、スギ間柱以外はスギ・ヒノキとも柱材の荷動き悪い。リフォーム用スギ、ヒノキ造作材は引続き好調。建具用桁平の動きも堅調。外材の構造材は米ヒバ土台角の引合い多いがそれ以外は低調。造作材はスプルー ス良材の動き良好、米ヒバ桁平の入荷少なく対応に苦慮。年明け以降買方の仕入れ意欲が減退。手持ち仕事量少なく市日来場者の当用買い目立つ。春需要期を迎えるが、市況の停滞感大きく先行き不安広がる。

9. 小売

国産材の構造材はスギ KD 柱・小割・板、ヒノキ KD 柱・土台とも保合。外材はロシアアカマツ野縁保合、米ツガ角・平割とも保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルー ス・ピーラー平割保合。集成材は WW 柱、RW 梁、柱ともに保合。合板は国産針葉樹、輸入品とも保合。プレカット価格は保合、加工は一部のビルダー順調。工務店は受注に変化なく、新築・リフォーム見積り多い。請負価格は厳しい状況。

4月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	→	↗	→

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m)2等	→
			スギ中丸太(3.65m)2等	→
			ヒノキ柱材(3m)2等	→
			ヒノキ中丸太(4m)2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
		スギタルキ 3.0×4.0×4m	→	
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	→
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	↘
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40 AB	↘
			アカマツ(KD)15×45AB 18×45AB	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→